

脳梗塞の治療を受けた患者さんへ

地方独立行政法人大牟田市立病院では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。

当該診療情報等の使用については研究計画書に従って仮名加工化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じております。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ先までご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本件研究の対象者に該当されると思われる方またはその代理人の方で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。なお、その申し出は研究成果公表前までとなりますのでご了承願います。

研究課題名	Branch Atheromatous Disease (BAD)における Early Neurological Deterioration (END) のリスク因子に関する研究
研究責任者	地方独立行政法人 大牟田市立病院リハビリテーション科 責任者名：小宮 大輔
研究の目的と意義	脳梗塞は当院で年間約 200 例 (2022 年) が治療を受け、そのほとんどにリハビリテーション処方がなされる当科の代表的な介入対象疾患です。その約 1 割を、穿通枝領域の病変であるラクナ梗塞が占めます。ラクナ梗塞の中には治療開始後にもかかわらず早期神経学的悪化 (Early Neurological Deterioration, END) を呈する病型が知られ、Branch Atheromatous Disease (BAD) と呼ばれています。END の発生は退院時の神経学的症状や ADL の悪化と関連するため、リハビリテーション医療における重大な関心事です。ラクナ梗塞の発症や再発には高血圧、糖尿病、脂質異常症などの併存疾患が関与するため、BAD における END にも関連している可能性があります。また、BAD 患者さんも複数の併存疾患を有し、複数の内服薬にて管理を受けていると予想されます。このような背景から、本研究では BAD における END の発生と併存疾患数・内服薬数との関連を検討します。
調査データ 該当期間	2014 年 1 月から 2022 年 12 月までの情報を調査対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる方 受診科：地方独立行政法人 大牟田市立病院 脳神経外科 対象疾患：脳梗塞 (BAD タイプ) と診断された方 ●研究の実施期間 承認日から 2026 年 3 月 31 日まで ●利用する情報

	患者基礎情報（年齢・性別・身長・体重・既往歴・併存疾患・発症日・入院日・退院日・投薬状況など）、医師の診療記録、リハビリテーション記録、看護記録、薬剤師記録、X線・CT・MRI等の画像、血液・生化学検査データを利用します。
試料・情報提供の 辞退に関するお申し出・ お問い合わせ先	地方独立行政法人 大牟田市立病院 臨床研究管理室 電話：0944-53-1061（平日 9時～16時）
備考・その他	